

◆参考:当初案(基本計画)における課題

凡例	
	現況道路(高速道路)
	現況道路(市道、県道等)
	スマートIC
	日進市(整備予定)
	愛知県(整備予定)

課題

- ・大型貨物車をはじめとした通過交通増加の影響による近隣住民の住環境への配慮
- ・医療福祉の集まる当地域に対する配慮

課題

- ・愛知牧場の牧場運営に対する影響が多大、よりスムーズな愛知牧場へのアクセス、観光地への魅力への配慮

課題

- ・スマートインターチェンジのランプ整備の影響による近隣住民の住環境への配慮



一部計画見直し案(各地権者等との調整結果)

凡 例	
	現況道路（高速道路）
	現況道路（市道、県道等）
	スマートIC
	日進市（整備予定）
	愛知県（整備予定）
	スマートIC整備により 通行ができなくなる現況道路

【医療福祉ゾーンに指定】

- ・医療、福祉施設の集まる歴史ある当地域に対し、スマートインターチェンジ等の事業が住環境へ大きな影響を及ぼさないよう、改めてスマートインターチェンジ整備計画の中で「医療福祉ゾーン」として位置づけ、近隣住民や施設利用者の豊かな暮らしを支える住環境の保全を図ります。
- ・市道南山黒笹線については、現道の拡幅を行わず、医療福祉ゾーンの明示・注意喚起を行うとともに、大型車への規制、速度規制、速度抑制対策等を行い、沿道の安全安心を確保します。

【スマートインターチェンジ、一般道及び愛知牧場を円滑に接続】

- ・スマートインターチェンジ、一般道及び愛知牧場を円滑に接続することにより、観光地の利用促進を図る計画とします。
- ・具体的には、愛知牧場入口とスマートインター入口をラウンドアバウト交差点にて直結させ、観光地及びスマートインターのスムーズな誘導を図るとともに、地域のシンボル(ランドマーク)として整備を行います。

【下りランプの線形を変更】

- ・スマートインター下りランプの線形を変更することで、よりコンパクトで地域の住環境に配慮した計画とします。



※市道黒笹三本木線から愛知牧場への大型作業車乗入を調整しています。

※工事の開始時期までに、連結のために必要な工事を施行する土地の全ての所有者等の補償等について合意を行う必要があります。